

第 2 次福井県消費者教育推進計画の総括（4 年間：R元～R4）

〈取組状況〉

社会や環境を配慮する消費者意識の醸成

①消費者の意識醸成の推進

- ・消費者フォーラムを開催（R元. 5/18、R4. 5/28開催）
- ・啓発パンフレットを作成配布（毎年11月 高校1年生、消費者モニター等 9,000部）
- ・エシカル消費キャンペーン（SNS等を活用したエシカル・チャレンジ等）を実施

R元～R3	認証マーク3種類集めて応募	R元：948名、R2：980名、R3：1,000名
R4	SNSを利用した情報発信	R4：753名参加

②事業者の意識醸成の推進

- ・福井県SDGs パートナシップ会議や環境フェアでの啓発活動

SDGs パートナシップ会議	：R2. 11/12、R3. 10/19、R4. 10/18
環境フェア	：R3. 11/23
- ・県内外事業者のエシカル消費活動の取組事例発表および消費者と意見交換会
（R元. 11/29、R4. 2/3、R5. 2/8 計3回4事業所）

幼児から成人までの切れ目ない消費者教育の提供

①ライフステージに応じた消費者教育の推進

【学校】

- ・家庭や授業で消費者問題について学べるワークシートの作成（毎年5月配布）

R元	：小学校189校7,400部、中学校80校7,300部
R2	：小学校189校7,300部、中学校80校7,500部
R3	：小学校187校7,500部、中学校81校7,700部
R4	：小学校186校7,450部、中学校79校7,650部
- ・学校（大学・専門学校含む）での出前講座を開催
（R元：18回2,058名、R2：10回1,228名、R3：11回1,278回、R4：10回1,192名
計49回 5,756名）

【地域・職場での消費者教育】

- ・児童館等で、紙芝居やかると等の子ども向け消費者教育の実施
（R元：34回、R2：27回、R3：21回、R4：23回 計105回）
- ・消費生活セミナーや通信セミナーの実施
（消費生活セミナー R元：10回495名、R2：10回475名、R3：10回403名、R4：4回293名
計34回 1,666名受講）
（通信セミナー R元：280名、R2：280名、R3：280名、R4：280名 計1,120名受講）
- ・事業所での出前講座の開催
（R元：7事業所255名、R2：1事業所8名、R3：4事業所75名、R4：3事業所55名 計15事業所 393名）
- ・民生委員やケアマネージャー等の高齢者等の見守り者に対する研修の実施

民生委員	R4：1回169名、
ケアマネージャー	R元：2回210名、R2：1回100名、R3：2回219名、R4：2回121名
介護サービス事業所	R4：1回718名

幼児から成人までの切れ目ない消費者教育の提供

②消費者教育の担い手となる人材の育成

- ・ 消費者教育に関心のある県民向けに研修会を開催
(R元：39名、R2：22名、R3：22名、R4：25名 計108名)
- ・ 教員向け消費者教育研修の実施
(教育研究所等 R元：2回47名、R3：2回87名、R4：2回84名 計218名)

③社会情勢の変化に対応した消費者教育の実施

- ・ 実践的な授業の実施 (消費者庁作成教材「社会への扉」 (高校生1・2年生) 活用)
- ・ 保護者向けパンフレットの作成・配布
(R元：高校1・2年生対象 17,000部配布
R2：高校1年生対象 9,000部配布
R3：高校1年生対象 9,000部配布
R4：高校3年生対象 8,000部配布)
- ・ 高齢者向けスマホ安全教室の開催
(R元：2回118名、R4：1回17名 計3回135名受講)

高齢者の消費者トラブルの撲滅

①被害の未然防止

- ・ 悪質商法等の被害防止ポイントを盛り込んだ情報誌配布
(R元：23,000部×11回
R2：23,000部×11回
R3：20,000部×5回
R4：20,000部×5回)
- ・ 孫世代からの注意呼びかけ (大学生や高校生による寸劇等)
(R元：2回、R3:1回)

②地域における見守りの支援強化

- ・ 「福井県消費者安全確保地域協議会」構成員に対し、見守りのポイントについて講習
- ・ スーパー等に特殊詐欺被害防止のポスター等掲示
(R元:221店舗、R2：219店舗、R3：218店舗、R4：244店舗 計902店舗)
- ・ 薬局等でお薬手帳用注意喚起シールを配布
(R元：471箇所15万5,000枚、R2:488箇所15万8,000枚、R3：486箇所15万8,000枚、
R4:495箇所 16万2,000枚 計1,940箇所63万3,000枚)